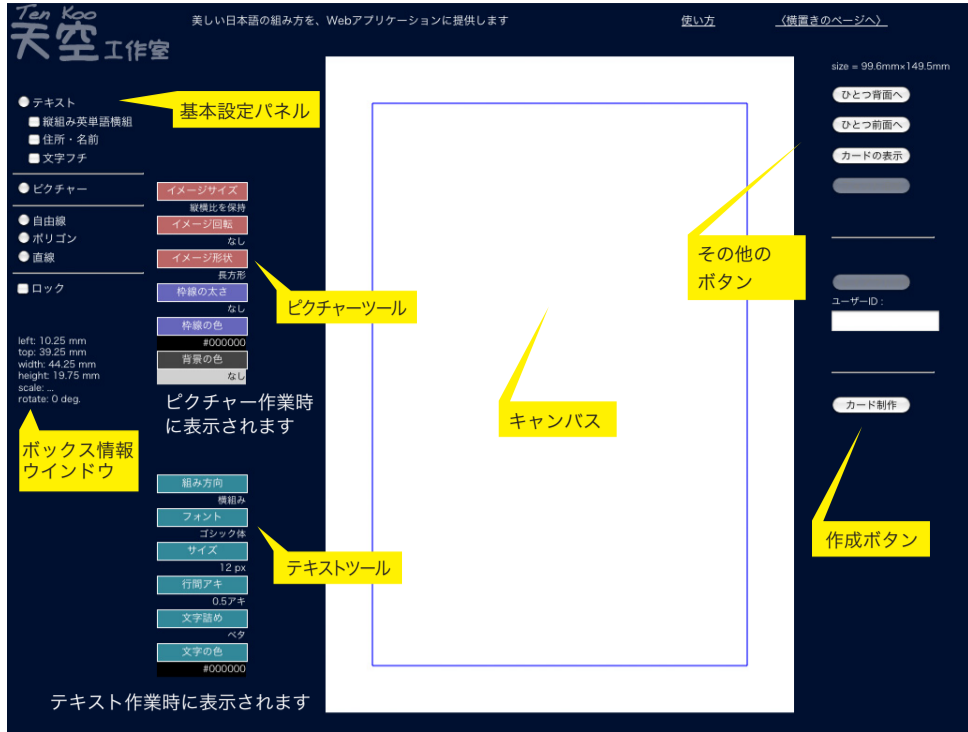


Webブラウザだけで上質なレイアウト、Webフォントで美しいレイアウトが可能。PDFファイルを生成します。



ブルーの枠の内側がポストカードのサイズになります。ここからはみ出して描画した場合、塗り出しとなり、全面プリントできるプリンターでは裁ち落とし処理が可能です。作成したPDFはA5サイズとなり、簡易なトンボが付けられます。

作成されるPDFにはオリジナルの画像データとフォントのアウトラインも含まれますので、高精細なプリント原稿となります。ただし、カラーはすべてRGBとなり、本格的な印刷のためのCMYKではありません。プリントショップなどに依頼する場合にはその旨ご相談ください。

左の説明図は縦組みポストカードですが、横組みのページもあります。

基本設定パネル

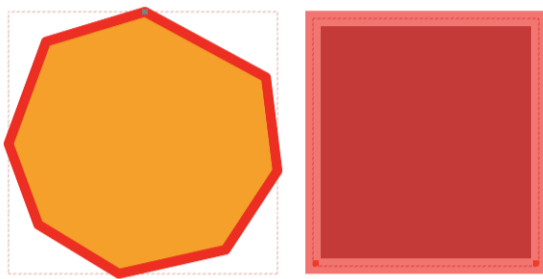
レイアウトソフトと同じように、作業する内容に応じて「テキスト」「ピクチャー」「自由線」「ポリゴン」（多角形）、「直線」から選択します。基本はキャンバス上での矩形のドラッグになります。ポリゴンはクリックの連続で多角形を作ります。ポリゴンは始点に戻って閉じなければなりません。自由線は始点でマウスドラッグを始めて終点までマウスボタン押し下げを続けます。終点は閉じなくても問題ありません。始点と離れた位置で閉じる場合にはマウスボタンをAltkey (Optionkey) を押しながら離すと、始点までの直線で強制的に閉じることができます。自由線もポリゴンも始点に近づくと表示が水色に変わり、そこで閉じることができます。閉じられた図形は、中に画像を取り込んだり、色をつけることができます。閉じられていない自由線や直線は線幅と色しか指定できません。自由線やポリゴンは後からその大きさを変更できません。ピクチャーボックスの場合には四角形が基本で、そこに囲まれた楕円も作れます。

ピクチャーの操作

テキスト以外のオブジェクト（閉じられない自由線と直線以外）は、次の設定ができます。ピクチャーボックスの場合には四角形が基本で、そこに囲まれた楕円も作れます。

ピクチャーツール

- 1、枠線の太さ
 - 2、枠線の色と透明度
 - 3、中の塗り色と透明度
 - 4、オブジェクトコンテンツの回転
 - 5、画像の取り込み
 - 6、画像の倍率
 - 7、ピクチャーボックスの場合には四角形と楕円の選択
- ※回転ではバウンディングボックスは回転せずに、コンテンツだけが回転します。



閉じられたオブジェクトへの画像の取り込み

オブジェクトのダブルクリックで取り込みダイアログが表示されます。取り込んだ画像は、四角形と楕円では矩形の内側に収まる縮小率が自動的に計算され、自動縮尺となります。ハンドルをドラッグしてサイズを変更でき、縮小率はサイズに追従します。自由線やポリゴンは後からその大きさを変更できないため縮小率は固定倍率になります。画像を取り込んだ場合には中の塗り色は無視されます。画像に透明度は設定できません。取り込める画像は JPEG、PNG、GIF となります。四角形や楕円の枠に太さをつけた場合、内側の画像はその線幅の内側になります。塗りの場合も内側の塗りとなります。自由線やポリゴンの枠に太さをつけた場合、内側の画像や塗り色は線幅の半分が重なります。これは線に透明度をつけた場合に解ります。

固定縮尺画像のトリミング

矩形オブジェクトでは、ハンドルが四方にあり、枠を移動してトリミング調整ができます。その他の画像でも shift キーを押しながらドラッグすることでトリミング調整ができます。自動縮尺画像ではできません。

テキストの操作

テキストボックスに入力するには、ダブルクリックで入力パネルを表示します。フォントの選択メニューに6つの書体がありますが、毛筆体以外の4つの書体はwoffフォント（webフォント）が使い、画面上でもその書体が描画されます。しかしwindowsシステムでは貧弱な描画しかされないようです。macではシステムに有るかのよう綺麗なアウトラインフォントで描画されます。PDF作成も同じフォントで行われます。

テキストツール

- 1、組み方向（横組み、縦組み）
- 2、フォント（現在のサンプルでは4種類のwoffフォントが使えます）
- 3、サイズ（pxピクセル単位となっていますが、Q数とほぼ同等です）
- 4、行間
- 5、文字詰め（バタ組みの他に詰め具合を4段階に選択できます。詰めは字幅詰めです）
- 6、文字の色

テキストオプション

- 1、縦組みで英単語を横組み
縦組みのテキストに英単語が出てきた場合、通常の欧文と同じように組む方法で、横に組みます。通常は（2桁の数字以外）すべて全角文字の縦組みとして組まれます。
- 2、文字フチ
文字をフチ文字にします。（現在は白フチのみ）
- 3、住所、名前
ポストカードなどの住所組みが自動で組まれます。そのためのテキスト入力に約束があります。

(例) 基本的な住所用テキスト

(デマークはなくても可) (住所の始まりのスペースはなくても可)

〒252-0037 神奈川県津久井郡中ノ町浦里55-4 (必要に応じて改行)

フラワーパレス2201 (必要に応じて改行)

koumi@palapuu.com (改行)

(改行) (名前との間には2つの改行が必要。これがないと住所組みされません)

小海田 浜彦 (先頭にスペースを入れると、名前はボックスの末揃え、ないときには住所の部分に頭揃え)
磯美 (名前の姓と名にスペースを入れると、後の行の姓のない名前がその位置に揃います)

わかめ (2行目の先頭にスペースを入れると、それは名として扱い、浜彦に揃います。ない場合には姓の始まりと見なして、小海田に揃います)

こんぶ

都鳴野 トト口 (別姓名の場合には先頭にスペースは入れません)

住所文字のサイズにたいして名前部分はサイズが自動で大きくなります。

組版機能について

- 1、文字詰め
文字詰めの実行は14px以上の文字サイズに対してのみ動作します。（サイズメニューの黄色い文字のサイズ）
食い込み詰めはブラウザに負荷が大きいため、このバージョンでは採用していません。
- 2、欧文対応
テキストはボックス内での行頭行末揃えとなり、禁則、約物処理がなされますが、欧文文字の字切りは辞書参照などを行っていないため、行末で順次改行されます。また、日本語フォント（woffフォント）のみを対象としているため、その他の任意の欧文フォントは使用できません。
- 3、テキスト入力
テキスト入力中もキャンバス上にリアルタイム描画されますが、文字詰めは解除されます。入力終了後に実際の描画を行います。

キーボードでの作業（キーボードショートカットと補助キー）

矢印キー	オブジェクトの移動
ctrlキー+矢印キー	オブジェクトのサイズ調整
alt(option)キー+ドラッグ	オブジェクトの複製
ドラッグ中のshiftキー	移動の水平、垂直の制限
ドラッグ前のshiftキー	固定縮尺画像の移動
alt(option)キー+クリック	画像のファイル名表示
ctrlキー+shiftキー+矢印キー	オブジェクトの回転（1度ずつ）
tabキー(+shiftキー)	次のオブジェクトの選択
delete(mac)、backspace(windows)キー	オブジェクトの削除

※テキスト入力パネルで文字間を空ける（詰まり過ぎや字切りのために文字間を空ける）
入力パレットにカーソルが入っているときに
alt(option)キー+「!」 1pxの空白を追加

キー入力やマウスクリックなどが、ブラウザ本来の対応に重なっているところがあるため、ブラウザによっては不自然な反応が出る場合があります。

オブジェクトのハンドルとその選択

それぞれのオブジェクトにはハンドルがついており、四角形のオブジェクトの場合にはサイズ調整などができます。選択されているときには赤いハンドルとなり、それ以外はハンドルは表示されません。ただし自由線とポリゴンのオブジェクトでは常にハンドルが表示されます。重なって下側になったオブジェクトは、上側のオブジェクトがロックされている場合にはそのままクリックで選択できますが、ロックされていない時に選択するには「見えないハンドルの位置をクリック」する事で選択できます。そのままドラッグできるものとサイズが変更されてしまうオブジェクトがありますが、メニューなどからの指定変更などができます。

動作環境について

Firefox 26.0とMacOSX10.6.8、MacMini 2.4GHz Intel Core 2 Duo 8GB メモリで開発を行ないましたが、これ以下の非力なCPUでは動作は苦しくなるかもしれません。デジカメなどの10MG程の画像を何枚も貼り付けたりすると動作は重くなります。メモリが2G以下のシステムでは途中でオブジェクトが消えてしまうなどのトラブルが発生しています。作業を途中で保存し、再度作品を再現する機能もありますが、現在は動作いたしません。

ブラウザの対応

Firefox 26.0を基準に開発を行ない、Safari、Chrome、Operaでも動作するように細かい対処をしていますが、不具合が起きる可能性もあります。Windows (XP、7) でも同じように対応するようですが、テキストの描画などはMacには比べようもなく、せっかくのWebフォントも美しく描画できないようです。

Web card compo はプロの制作物に必須のブラックのオーバープリントや毛抜きあわせなど、その他の専門的な処理はなされておられません。

HTML や CSS の日本語組版機能には限界があります。Web ブラウザーでしっかりした日本語レイアウトを必要とする各種コンテンツにご検討ください。



開発中のため、不具合などが含まれています。
contact@tenkoo.asia
旧テラ・マーク・アンド・システム 開発者 荻野

http://www.tenkoo.asia